

## 第4学年 年間指導計画(国語科 全210時間)

### 学習の目標

- 調べたことなどについて筋道を立てて話すことや、話の中心に気をつけて聞くことができるようにし、進んで話し合おうとする態度を育てる。
- 調べたことなどが伝わるように段落の関係などを工夫して文章に書き、適切に表現しようとする態度を育てる。
- 目的に応じ、内容の中心をとらえ、段落相互の関係を考えながら読むことができるようにし、幅広く読書しようとする態度を育てる。

### 学習の方法

- 身近な話題についてスピーチをする。
- 要点などをメモにとりながら聞く習慣をつける。
- 疑問に思ったことなどについて、調べてまとめる。
- 経験したことを記録文や新聞にあらわす。
- 読んだ内容に関連した他の文章を読んだり、疑問に思ったことなどについて関係のある資料を探して読んだりする。

### 学習の評価

次の5つの観点にそって、どれだけ達成できたかによって評価する。

1. 国語への関心・意欲・態度
2. 話す・聞く能力
3. 書く能力
4. 読む能力
5. 言語に関する知識・理解・技能

「よいこのあゆみ」では、それぞれについての総合的な結果を知らせる。評価の方法は、ペーパーテストのほか、プリント、ノート、発表などである。

単元名	主な学習内容
1 物語をくふうして音読しよう	場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、工夫して音読する。
・こわれた千の楽器	学習のねらいを確かめて、物語を通読する。
・図書館へ行こう	図書館の配架と本の分類を知り、本の探し方を確かめる。
	図書館の配架と、ラベルを手がかりに本を探すことを知る。
・心の動きを文章に書こう	気持ちが伝わるように工夫して文章を書く。
・漢字の読み方に気をつけよう	漢字の音訓や送り仮名について理解する。
	漢字の音と訓について理解し、いろいろな漢字の読み方を調べる。
・漢字の練習	送り仮名の働きを整理し、漢字を正しく読み書きする。
2 だん落のつながりをとらえながら読もう	段落と段落の結び付きを考えながら読み取る。
・ヤドカリとイソギンチャク	題名や扉の写真をもとにヤドカリとイソギンチャクの関係を考え、説明文を通読して学習のねらいを確かめる。感想を発表する。
・案内係になろう	相手が知りたいことを考え、必要なことを選んで話す。
・わたしが選んだ今月のニュース	出来事を分かりやすく報告する文章を書く。
・漢字辞典の使い方を知ろう	漢字辞典の仕組みと三種類の索引の使い方を知り、漢字の学習に活用する。
3 人物の様子や気持ちを考えながら読もう	中心となる人物に気をつけて、様子や気持ちを考えながら読む。
・走れ	学習のねらいを確かめ、物語を読んで初発の感想を発表する。
・メモの取り方をくふうして聞こう	事柄と事柄の関連に気をつけて話を聞き、工夫してメモを取る。
4 目的による表し方のちがいを考えよう	目的による表し方の違いを読み取る。
・広告と説明書を読みくらべよう	学習のねらいを確かめ、身近にある広告や説明書を想起しながら教科書を読んで、広告と説明書がそれぞれどのようなものであるか理解する。
・わたしの考えたこと	伝えたいことの内容を明確にし、文章の組み立てを考えて書く。
	学習のねらいと流れを確かめる。これまでの生活で考えたことを振り返り、書く題材を探す。
	考えたことやそのきっかけになった出来事、考えた理由、みんなに伝えたいことなどを短い文に書き、文章の組み立てを考える。

	組み立てをもとに、文章を書く。
	推敲の観点を確認し、書いた文章を推敲する。
	清書し、お互いに書いた文章を読み合っ、感想を伝え合う。
・「ことわざブック」を作ろう	ことわざや故事成語について知り、ことわざの意味を理解して使う。
	教科書P80を読んで、ことわざについて知る。
	ことわざの意味を辞書等で調べ、いろいろなことわざを集める。
	興味を持ったことわざについて、話題や場面を想定して文章を書き、カードにまとめる。
	「ことわざブック」を作り、グループごとに読み合う。「いろはかるた」について知る。
	故事成語の意味や成り立ちについて辞典等で調べ、ブックに加える。
	学習を振り返り、ことわざや故事成語を生活の中でどのように使っていくかを考えて話し合う。
・本は友達	読書への関心を高め、多様な本を読む。
	読書体験について書かれたエッセイを読み、読みたい本を探して楽しんで本を読む。
5 詩を読もう	場面の様子を思い浮かべながら、詩を声に出して読む。
・ふしぎ	詩に描かれている情景や作者の思いを考えながら詩を読み、想像したことや感想を伝え合う。
・よかったなあ	詩を読んで考えたことをもとに、さまざまな読み方を工夫する。
・「今の自分」を話します	伝えたいことをはっきりさせ、材料を選んで話す。自分と比べながら聞く。
	学習のねらいや流れを確かめる。自分を振り返って話したいことを挙げる。
	伝えたい中心を決めて材料を選ぶ。組み立てメモを作ってスピーチ原稿を書く。
	スピーチメモをもとに、グループでスピーチの練習をする。聞いた人は助言をする。
	クラスみんなの前でスピーチをし、質問や感想を伝え合う。
・お願いやお礼の手紙を書こう	目的に合わせて書くことを選び、依頼状や礼状などの手紙を書く。
	学習のねらいを確かめ、教科書の文例を参考にして、基本的な手紙の形式と必要な項目を知る。
	相手や目的に合わせて書くことを選び、下書きの文章を書く。
	書いた文章を見直し、形式に気を付けて手紙を書く。
・文末の言い方に目を向けよう	文末表現には、話し手や書き手の判断や物事のとらえ方が表れていることを理解する。
	文末表現の仕方により、話し手や書き手の判断やとらえ方の違いを表すことができることを知る。
	練習題を行い、文末表現による話し手や書き手の判断やとらえ方の違いを考える。
6 人物の気持ちの変化を考えて読もう	場面の移り変わりに気をつけて、人物の気持ちの変化をとらえる。
・ごんぎつね	学習のねらいを確かめ、物語を読んで初発の感想を発表する。
	物語全体の時・場所・登場人物をとらえ、中心となる人物を確かめる。
	ごんの兵十に対する気持ちを場面ごとに整理し、ごんの気持ちの変化を読み取る。
	最後の場面のごんと兵十の気持ちを読み取る。
	最後の場面をごんの視点で書き換え、ごんの気持ちについての理解を深める。
・連詩にちょうせんしよう	言葉から想像を広げて、詩を作る。
	学習のねらいと流れを確かめ、連詩の形式や作り方を知る。
	グループの友達と言葉集めを行って詩を作るための練習をし、題を決めてグループで連詩を作る。

	グループで作った連詩からよいと思った作品をクラスで発表する。
	友達の作った連詩のどこがよいと思ったか、感想を伝え合う。
・文の組み立てを考えよう	主語・述語・修飾語それぞれの働きを理解し、文の構成をとらえる。
	主語と述語だけでできている文と修飾語が加わった文とを比べ、修飾語の役割を確かめる。
・漢字の練習	主語・述語・修飾語からできている文の構成について理解する。
	いろいろな文の中から主語・述語・修飾語を抜き出し、理解の定着を図る。
7 暮らしの中の世界について調べよう	まとまりごとの内容や、何をどのように比べているかを考えながら読み取る。
・暮らしの中の和と洋	学習のねらいと流れを確かめ、説明文を通読して初発の感想を発表する。
	まとまりごとの内容やまとまりどうしの関係に注意して、和室と洋室それぞれの特色をどのように比べているか考えながら、書かれていることを読み取る。
	自分たちの暮らしの中にある「和」と「洋」についていろいろな本や資料で調べ、比べる観点に基づいてメモに整理する。
	メモをもとに、引用も取り入れながら短い文章にまとめる。
	書いた文章を『『暮らしの中の和と洋』ブック』にまとめて読み合い、感想を伝え合う。
・みんなで話し合っ	話し合いの基本的な進め方を知り、司会を中心にそれぞれの役割を果たしながら話し合う。
	学習のねらいや流れを確かめる。自分たちのふだんの話し合いについて振り返る。
・漢字の練習	話し合いの進め方と司会の役割について考える。
	、交代で司会をしながらグループで話し合いをする。
	話し合いを振り返り、良かったところや注意したいところを伝え合う。
8 取材したことをもとに学級新聞を作ろう	取材したことを整理して、分かりやすい記事を書く。読み手の興味をひく書き方を工夫する。
・みんなで新聞を作ろう	学習のねらいと流れを確かめ、新聞例や身の回りの新聞を見て、新聞の形式や特徴を知る。
	グループで新聞作りの計画を立て、題材を集める。割り付けを考えて記事を分担する。
	インタビューしたり資料を集めたりして取材をし、記事の下書きを書く。
	グループで下書きを読み合い、必要に応じて修正して、清書した記事を新聞に仕上げる。
	新聞を読み合い、感想を伝え合ったり、自分たちの記事を振り返ったりする。
・文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう	文と文を接続する言葉の働きを理解する。
	接続詞の働きについて理解する。
・漢字の練習	接続助詞の働きについて理解する。
	練習題を行い、接続語の使い方について理解を深める。
9 家族やふるさとを思う心をえがいた本を読もう	家族やふるさとを思う心をえがいた、いろいろな本を読む。
・世界一美しいぼくの村	学習のねらいと流れを確かめ、物語を読んで初発の感想を発表する。
	物語を読んで、ヤモの気持ちを想像したり、物語の結末について考えたりする。読んだ感想を話し合う。
	家族やふるさとを思う心をえがいたほかの本を探して読む。
	読書発表会を開き、読んで心に残った本について、紹介し合う。
・「百人一首」を声に出して読んでみよう	短歌を声に出して読んで、言葉の響きやリズムを感じ取るとともに、情景を思い浮かべる。
	短歌について知り、教科書P80の短歌を音読して、内容の大体を知る。
	百人一首について知り、短歌を音読して、内容の大体を知る。
	「百人一首かるた」の遊び方を知り、選んだ十首で実際に遊ぶ。

・目的に合わせて書こう	伝えたいことに合わせて必要な資料を選び、伝える内容や形式を考えて文章を書く。
	学習のねらいを確かめ、記事をどのようにまとめているのか、文章の工夫を見つける。
	学校新聞の記事をもとに、付け加える資料を選んで文章の続きを書く。
	友達の書いた文章を読み合い、書いた文章や選んだ資料が目的と形式に合っているか確かめる。
10 調べたことをポスター発表で報告しよう	調べたことを整理して、ポスターを使いながら順序よく報告する。
・報告します、みんなの生活	
	調べたい話題を決めて、グループを作る。
	グループでアンケートの内容について話し合う。アンケートを行って集計する。
	アンケート結果から分かったことを整理して、発表する内容を考える。ポスターを作る。
・同じ読み方の漢字に気をつけよう	それぞれの漢字には意味があることを理解し、同音・同訓の漢字を正しく使い分ける。
	漢字には一字一字意味があることを知り、同音異字・同訓異字の使い分けの練習をする。
	いろいろな同音異字・同訓異字を探し、それらを正しく使い分けた文を考える。
11 わたしたちの生活とロボットについて考えよう	筆者の考えがどんな言葉で表されているかに注意して読み、文章を読んで考えたことを理由や例を挙げながら書く。
・「ゆめのロボット」を作る	自分の考えるロボットについて発表した後、教科書P104冒頭を読んで学習のねらいと流れを確かめる。
	インタビュー記事を読み、ロボットに対する筆者の考えや願いを読み取る。
	説明文を読み、インタビュー記事から読み取った筆者の考えや願いがどのように生かされてロボットが作られているかを読み取る。
	インタビュー記事と説明文を読んでロボットに対する考えがどのように変わったかを発表し、筆者の考えを参考にして自分にとっての「夢のロボット」について書いて交流する。
・「十さいのわたし」文集を作ろう	1年間の思い出や未来の自分への手紙を書き、文集にまとめる。
	学習のねらいと流れを確かめる。
	これまでに書いた文章を読み返し、1年間の出来事を振り返って思い出を文章に書く。
	未来の自分へあてて手紙を書く。
	1年間に書いた文章と新たに書いた文章に、表紙や目次を加えて、「十さいのわたし」文集を作る。
	それぞれの文集を読み合い、感想を伝え合う。
・漢字を使って読みやすい文を書こう	漢字の良さを知り、漢字と仮名を用いた表記に関心を持つ。
	平仮名だけの文と漢字を使った文とを比べ、平仮名や片仮名の特徴と漢字の働きについて確かめる。
12 様子が分かるように音読げきをしよう	場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、工夫して音読劇をする。
	学習のねらいと流れを確かめ、戯曲を読んで、初発の感想を発表する。
	全体の時・場所・人物を確かめ、場面ごとに人物の行動や会話から人物像や心情を読み取る。
	役割を決めて音読の練習をし、音読劇として発表する。
	「木竜うるし」を物語に書き換え、書いた作品を読み合って、戯曲と物語の違いを確かめ、学習を振り返る。